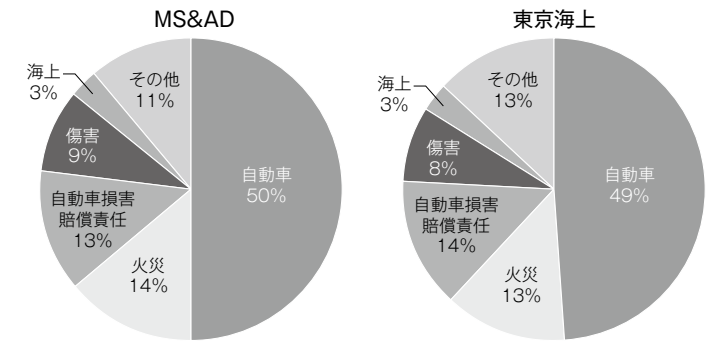


保険売上構成比(%)の比較(2013年度)



日本損害保険協会によると、二〇一四(平成二六)年の二月には大雪で業界全体で二五〇〇億円を越す保険金の支払いがあったが、損害保険事業は火災や地震など自然災害による影響を受けやすいため、海外事業や、生命保険事業などで地域間、事業間でリスクを分散し、影響を補い合う体制を作り上げている。また、MS&ADではマレーシアやインドネシアといった、アジアでの保険販売を伸ばしている。

二〇一四年の夏から秋にかけて、各社で自動車保険の値上げが実施された。これは、消費増税により売上の大部分を占める保険料には課税されない一方で、修理費などの保険金や保険代理店への手数料支払いなどといった支出が増加するため、キャッシュインとアウトの差による影響を補うための対応ともいわれている。この保険料の値

上げについては、二年連続での実施となるが、値上げ幅については、3メガ損保のなかで東京海上日動の値上げ幅が最も小さく、各社の事業費率改善などの経営努力を反映したバラつきが生じつつある。

最後に、キャッシュ・フローの流れから両社の戦略の違いに迫ってみたい。キャッシュ・フローとは、資金の流れを表したもので、営業活動(本業)にかかわるもの(Ⅱ営業キャッシュ・フロー)、資産の購入、売却といった投資活動にかかわるもの(Ⅲ投資キャッシュ・フロー)、資金の借入、返済といった財務活動にかかわるもの

直近5年のキャッシュ・フローの推移の比較

